地方には拓殖醫或は產婆を配置し、而して子弟の國民教育に付ては教育費の補助を與へ、永住の氣風を馴致せしめる爲には神社及布教所設置費を補助し、更に移民竝起業家に便するが爲豫め殖民地を選定の上之を區劃して土地處分の敏捷を期し、之等殖民地の賣拂又は貸付は總て公告して之を周知せしめることゝした。更に大正十二年度より農業自作移民に對して一戸三百圓の奬勵金を交付することゝし、次いで昭和二年度よりは之に住宅建設費を加へ三百五十圓に增加して專ら移住奬勵に力めてゐる。而して之が移民の趨勢は第五章に於て說けるが如く年歲增減あり、常に經濟界の好不況に律せらるゝ傾向はあるが、移民政策は一貫して良く時勢に適應し着々開拓の歩を進めてゐる。

(二) 農耕地開發の助成

畑地の開墾に關しては從來補助の制度が無く、移住後日尙淺き爲薄資薄利なる農業者をして其の業績を擧げしめるには相當助成の途を講ずるの必要なるを認め、昭和元年度以降畑地の開墾費に對して四割の補助を行ひ依つて未墾地の開發を促進せしめ、又未墾地中民有に屬するものに對しては之が開發を專ら自作法に依らしむるを適當とするが故に、昭和二年度より五箇年据置二十五箇年賦の方法に依つて利率三分五厘の土地購入資金を貸與し以て民有未墾地の開發を圖つてゐる。而して昭和八年度迄の開墾補助面積十七萬九千七百五十一町歩、民有未墾地開發面積十一萬二千三百四十七町歩である。

(三) 交通機關の施設と助成

移民招徠に伴つて增大する物資其他の運輸は、一に交通機關の便に俟たなければならぬ。寔に拓殖の進捗は移民の趨勢に預り、移民の消長は交通機關の如何に左右せられると云ふも敢へて過言ではない。然るに本事業の施設は莫大なる經費を要するを以て一朝一夕に之が完備を收むることは出來ぬ。開拓使以來僅に陸上交通の一部の設備を爲すに止り、卽ち道路の開鑿を爲し地方費道以下に對しても主要なるものは拓殖費を以て施行し、十年間は國費を以て管理の方法を講じ、其の他橋梁の新設竝に道路の改良及修繕或は新開闢阪地に驛遞所を、又橋梁なき河川に渡船場の施設を見たが、道路の開鑿は明治四十二年迄に二千五百四里、橋梁の架設は十數箇所に過ぎぬ狀態であり、營に其の普及を見ざるに止らず亦耐久力に乏しく實用に適せざるの憂あるを以て、第

一期拓殖計畫以來は專ら實用を損せざる程度に於て工法を簡單にし、樞要の地區若くは原野を連絡する箇所に對する開通の案を樹てゝ之が新設を豫定し、一面既成道路の改良及び修繕を施して之が效用を全からしめ、或は驛遞及渡船の普及を圖り以て交通の便に資してゐる。更に大量輸送の機關たる鐵道に於ても土地廣大なるに比較して甚だしく疎に過ぎ、開通一年の遲延は開拓一年を後るゝの憾あるを以て、最も急速なる路線に對して之が新設若くは繰上の爲必要なる資金の利子を拓殖費より鐵道特別會計に繰入るゝことゝした。又他面私設鐵道の經營に對しては其の奬勵を圖り、本道は府縣と經濟、地理及産業上其の趣を異にするを以て、地方鐵道補助法に依る一般補給金の外に別に拓殖費よりも三朱（昭和元年度二朱）の利子補給をなし、且又鐵道の補足的機關として主要なる原野に簡易軌道の敷設を奬勵するの必要を認め、之に對しても地方鐵道と同じく八朱（昭和元年度迄七朱）の補給計畫を樹て着々助成を圖つてゐる。又別に新開地方に對し簡易なる殖民軌道五百哩の敷設計畫を樹て、既に根室、天鹽、北見及釧路の各原野に於て二百六十五哩三の竣功を見てゐる。

(四) 港灣事業

海運上將又漁場開發上から見るも港灣の設備は重要なる拓殖事業の一に屬するが、本施設は頗る巨費を要するを以て第一期拓殖計畫に於ては專ら海難逃避を目的として樞要港灣たる函館、小樽、室蘭、釧路、留萌、稚内、網走及根室の八商港竝岩内、江差、浦河、沓形及紋別の五漁港を修築することゝして工事に着手したが、更に第二期拓殖計畫に於ては重要商港たる函館、小樽、室蘭及釧路の第二期工事として海陸連絡の設備を、又各築港にあつては既往の實績に鑑みて設計を修補擴張し、且新に余市、廣尾及天賣の三漁港竝に小漁港二十五箇所に對する修築を豫定すると共に、地方的重要漁港に對しては經費分擔の方法に依り船入澗の築設を企圖し、之が工事施行に付ては補助の方法に依つて夫々實用的の設備を施行することゝし、既に前期計畫に屬する函館、小樽、室蘭、釧路、根室及岩内の各商漁港の擴張工事、竝に余市、廣尾、天賣及二十五の小漁港修築工事を施行中である。又船入澗築設に付ては地方公共團體に對して可及的に之が補助金を交付してゐる。

(五) 河川事業

本道河川は拓殖の進捗に伴ふ森林の伐採、原野の開墾若くは河畔の侵墾等に依つて自

ら洪水氾濫の原因を多からしめ、其の被害の及ぶ所は年と共に甚しく啻に舟筏の通行を困難ならしむるばかりでなく、良圃を流亡し家屋を損傷し甚しいのは人命を害ふものがあり、之が防護施設は一日も閑却するを得ず、又土地改良其他未墾地の開發上より見るも河川の改修は重要なる施設の一てある。

故に第一期計畫に於ては主要二十六箇川の調査を開始し、且つ逐次石狩川本流第一區、江別・夕張・千歳川、豐平川、常呂川、釧路川及十勝川の治水事業に着手し、第二期計畫に入つては右既着手工事の促進を圖ると共に石狩川第二區、網走川、湧別川、雨龍川、天鹽川、渚滑川、利別川（十勝川支流）、利別川（後志）の治水計畫を豫定したのであるが、既に第一期計畫に屬する常呂川及釧路川の下流部の治水工事並石狩川第一區通水工事を竣功した。尙以上の他治水工事未施行の河川に對しては必要に應じ應急的護岸竝に浚渫工事を施し、且二十六箇川には河川監守を配置して既設構作物の保護竝一般の取締を勵行してゐる。

(六) 國有林の整理竝經營其の他

本道の國有林は林地區分調査の進行と共に逐次之を未開地に編入處分し來つたが、現に三百五十餘萬町歩を保有し其の林相比較的良好であつて、蓄材は尤に十五億石に達し我邦林産の雄である。卽ち之が合理的保護經營は啻に林利增殖の促進を圖るのみならず、他面雨量を調節し風霧害を防ぎ農作物を保護し、且公衆衞生を濟くる等其の利害相關係する所頗る大である。故に明治四十年以來之が整理經營に關する一定の方針を樹てゝ豫定經費を支出し、大正七年度以降拓殖費に編入し着々之が遂行を期してゐる。本事業の主要なる點に付いて之を述ぶれば次の如くである。

(イ) 國有林の更新施業を確實にすると共に木材利用の集約竝之が配給の調和を圖る爲研伐事業を施行して民間に拂下げ、(ロ) 此の資材及造林の搬出の爲、專用鐵道及び軌道を敷設し、(ハ) 之が經營に對しては山火及盜伐等の被害を防遏する爲樞要の地に森林主事竝に巡視人を配置して監護の任に當らしめ、(ニ) 境界を確定すると共に林況を調査し、利用竝更新に關する大要の施業案を編成し以て植伐の規準を定め、(ホ) 林業の改善及林産利用の發達を圖る爲各般の試驗を行ひ(ヘ)造林計畫を定め人工造林竝天然更新作業を施行し、且之が附帶事業として(ト)民間に對し苗木の無償配付及造林費の補助等を行ひ、以て造林事業の奬勵に力むる等本道林政上遺憾なきを期してゐる。

(七) 泥炭地及濕地竝酸性土壤の改良

本道に於ける農耕適地百五十八萬町歩の内特殊土壤たる泥炭地及濕地は二十五萬町歩あるが、此の内大正四年度以降最近迄國費を以て排水溝を掘鑿し土地の乾燥を圖り以て改良し其の利用を待つもの十一萬一千六十五町歩、大正九年度以降補助工事によつて改良し現在利用しつゝあるもの二萬四千三十六町歩、而して私費を以て改良せるもの五千八百七十一町歩を合計し十四萬九百七十二町歩であつて、今後改良を要するもの十萬九千百三十八町歩を存する。故に之が改良計畫として一團地五百町歩以上（昭和元年度以前は一千町歩以上）を抱擁する箇所に對しては國費を以て幹線排水溝を掘鑿する方針の下に施行し來れるもので、施行當初より八十九箇所に及び其の實績は前述の如くである。又私人或は公共團體にして一團地五百町歩未滿の泥炭地及濕地の改良を爲すもの卽ち補助工事に對しては其の工費の五割を補助する方針に出で之が奬勵に努め、大正九年度以降許可實施せる面積は前記の如くである。

右の如く泥炭地及濕地の改良は排水溝施設による外、專ら斯かる土地の利用增進を圖る最も有效なる手段は客土事業であつて、此の事業の奬勵を計畫し昭和二年度以降事業費の五割を補助し、此の效果の顯著なるを認められ益々優勢に赴きつゝある。

而して右の外酸性土壤の改良に對しては事業費の四割を補助することゝし、昭和元年度以降同八年度迄の實績は一萬六千三百三十四町歩に達し頗る效果の大なるを認めらるゝに至り、最近精細なる調査の結果該土壤面積の頗る廣汎に渉ることを認めたるが爲、昭和八年度迄施行したる補助計畫を以てしては急速改良を要するもののみに對してすら其の要求を充たすを得ざりし爲此の方法を廢止し、昭和九年度より國營に依り酸土の中和劑たる石灰を生產配給し以て地力の增進を圖ることゝなり目下實施中である。

(八) 水田の造成

本道に於ける水田適地は四十五萬町歩であつて、之が完成の曉に於ては本道の產米は反當收量一石六斗としても七百萬石を下らぬであらう。而して之が助成の方法としては畢に道廳に於て灌漑溝築設に對する基本調查及設計調查を施行する外、十町歩以上の開田に要する灌漑溝幹線の新設に對しては其の工費の約四割を補助する計畫を實施

し來りたるも、昭和元年度以降更に幹支派線の新設竝擴張に對しては其の工費の五割を補助し、且其の改良に對しても三割を補助する計畫に改め着々實施中に屬してゐる。而して最近迄の實績を見るに灌漑溝基本調査を施行したものは二十四萬四千百六十四町歩、設計調査を實施したものは十四萬六千七百六十四町歩に達し造田の計畫及着手を待つものである。

又灌漑溝掘鑿工事は今日迄實施せる補助面積十四萬六千六百十六町歩であつて、内既成水田面積は十三萬餘町歩に達し、全道に於ける水田總面積の約七割を占めてゐる。右の外昭和元年度からは造田奬勵の爲三反歩以上を造田するものに對しては工費の四割を補助することゝし、同年度以降の造田補助面積は五萬四千六百三十六町歩に達し、本道水田造成に對し頗る有效なる成績を齎しつゝあるものである。

(九) 産業に關する施設

本施設は概ね本道産業の基礎を確立し其の改良增殖と生産品の圓滿なる消流を企圖するにある。之等施設を大別して五項に分け之を說明すれば次の如くである。

(イ) 農事に關する施設

農事試驗　廣大なる地域を擁する本道は氣候風土等自然條件に於ても府縣と相異なる點多きに鑑み、農業上樞要な地を選定して農事試驗場を經營し、地方的特異性に應じて優良品種の選定、耕種肥培及合理的輪作法を研究し以て其の普及を圖り、又地力の維持改善を目的とし本道特有にして廣大なる地積を有する泥炭地及火山灰地の利用を圖るを以て其の主たるものとし一般農事及甜菜に關する諸試驗を行ひ、本道農業の指針を示すと共に其の實地指導に當り技術の向上と堅實なる農業の經營を企圖しつゝあるもので益々本事業の活躍を期待されてゐる。

農事指導奬勵施設　本道の開拓は特に未墾地の開發に俟つべきものが多い。卽ち補助移民農家に對する開墾耕作の指導及副業の奬勵等其の保護助成に努め、一般農事に關しては農會及畜產組合技術員に農業合理化に關する事務を囑託し以て經營の合理化を促し、特に耕作能率增進の爲優良農具の使用を奬め、又普通作物竝特殊作物たる亞麻の品種改良を圖り其の採種圃經營を助成し併せて本道の適作物たる甜菜栽培の奬勵に萬全を期するの外、酸性土壤の改良及飼料作物栽培上必要缺く可らざる石灰の採掘を國營事業とし以て各農家に實費配給する等合理的農業の經營に全力を

傾注してゐる。

(ロ) 水産に關する施設

水産試験　四面環海で魚族豊富な本道水産業の發展を期せんが爲本道沿海を四海區に分ち、本場以下三支場をして夫々水産業の基礎たる海洋の觀測、養殖適地或は有用水族に對する調査又は漁場の探檢を行ひ、延いて水産物の價値向上を計るべき製造試驗竝近時漸く盛ならんとする遠洋漁業の爲には七十噸級汽船を始め發動機船數艘を以て調査の完璧を期し、尚製造養殖漁撈の各科に亙る試驗を施行する外、年歳漁村の青少年數十人に對し實地教育を施し以て疲弊せる漁村の更生に資しつゝある。

水産奬勵施設　沖合漁業並遠洋漁業の振興を促進する爲、漁船に對する構造及設備に補助を行ひ、漁船の機械化を奬勵すると共に漁獲物の利用增進の施設として共同製造所、貯藏及水産物の處理改善設備等に對して助成を爲し其の普及を圖つてゐる。

鮭鱒孵化事業　從來國營に係る千歳、虹別及留別の三孵化場を以てしては尚不備不充分なるを以て、本年度より民營孵化場三十八箇所を國に移管して本道漁獲物の雄たる鮭鱒の增殖維持を圖りつゝあるもので、鮭鱒族漸減の傾向ある今日極めて急務

に屬するものである。

漁場測量　漁場の位置境域を實測して漁場連絡圖を作成し、且既設漁場の整理を行ふ爲漁場に對する三角測量及海岸連絡測量を施行するものである。

(ハ) 畜産に關する施設

農業經營の組織を改善し、飼畜農法に依り農事の根本的改良を促し、地力の維持增進竝農家經濟の向上を圖る爲牛馬百萬頭計畫を樹立し、畜牛馬匹の購入費に對し補助を行ひ、之と相俟つて搾取乳利用の途を講ずる爲酪農事業を助成し之が消流を圓滿ならしめつゝあるもので、其の功績に至りては呶々を要せざる所であつて前記農事奬勵施設と相俟つて本道農業經營の根幹を爲す施設である。

(ニ) 工業に關する試驗及奬勵施設

各種原始産業の進展に伴ひ其の行詰りを打開する爲、加工産業の發達を促進せしめ工業用原料利用の基礎を確定せしむべく窯工業、油脂乾溜、藥品及蛋白工業、酒精代用酒類及調味料、木質纖維紡績及染色等の各試驗竝富源調査を施行し、尚本道工業の改良發達を促す爲には重要工業に對する助成の途を講じつゝあるもので將來に

於ける本道工業の躍進を約束されてゐる。

(ホ) 販路擴張に關する施設

生産の增殖改良等は產業の助成上最も緊要な事であるが、之と併行すべき販路の擴張は亦產業振興上缺くべからざる極めて重要なる事項なるを以て、本道物產に關する諸般の調査、宣傳及紹介等の機關として、東京、大阪、大連、哈爾賓、上海、香港及マニラに出張所を常設して貿易の振興を期しつゝある。

附錄

都邑及名勝地

(一) 函館市及其の附近

函館市 本市は本道開拓及幕末變遷史上最も古き歷史を有するのであつて、寬政十一年幕府が蝦夷地開拓の根據地としたる以來發達し、安政六年開港場となり外國貿易を行ふことゝなつてから更に繁榮を招き今日の隆昌を見るに至つた。本市は本道の咽喉部に當り附近沿岸諸港との航路の接續點たるのみならず函館本線の起點である。故に內外の交通盛んにして船舶常に輻輳し漁業貿易及支那貿易の樞要地にして、又軍事上要衝の地であつて特に千島及蘇國領沿海州に於ける本邦人の漁業根據地であり、從つて漁獲物及製品の一大集散地である。而して昭和八年度末に於ける人口は約十九萬八千人で、港灣及交通の設備は固より諸般の文化施設よく整備せる北方日本第一の都會である。主要官衙は津輕要塞司令部、函館地方及區裁判所、函館稅關、函館地方專賣局、札幌遞信局海事部、渡島支廳、市役所、英及蘇國兩領事館等あり、外に銀行は日本銀行を初とし第一、安田、十二の各銀行支店及北海道拓殖銀行の支店あり、會社としては帝國水電株式會社、日魯漁業株式會社、函館製網船具株式會社及函館

船渠株式會社等がある。名勝としては函館公園あり、驛より二十二町臥牛山麓にあつて市街及港灣の眺望に適し園内には圖書館及水產陳列所あり、又櫻樹多く其の花期は五月上旬より始まり夜櫻は殊に有名である。

五稜廓公園　函館市より電車の便あり二十分にして達する。幕末維新史に著名なる函館役に榎本武揚及大鳥圭介等が據つて官軍に抗し血戰せる所であつて當時洋式最新の設計により築成せる城郭今尚當時の面影を殘し、星を型どり五稜形を成せる爲此の名あり、今は史蹟として保存されてゐる。城郭を繞る濠は清水を湛へ夏は好個の水泳プールとなり、冬は結氷して函館隨一のスケートリンクとなる。

湯ノ川溫泉　函館市を距る東北約二里にして下湯ノ川村に在り、南方は海に面し土地高燥風光頗る開豁で閑靜の地であり、泉質無色透明で數箇所に湧出し本道來遊者の旅塵を洗ふに適してゐる。附近には湯ノ川遊園地、柏野グラウンド及競馬場等がある。

トラピスト修道院　佛國天主教一派トラピスト團の經營であり、男子修道院は函館市を距る西方海路九浬の當別に在り、女子修道院は函館市を距る東北約三里の上湯ノ川に在りて共に敬虔なる祈禱と勞働との絶對禁慾的宗教生活を送つてゐる。又此所より產出される牛酪及チーズは有名である。

大沼公園　函館市を距る十七哩餘、龜田及茅部二郡に跨る大公園で周圍八里餘、沼は大小二より成り沼中大小無數の島嶼は樹木繁り景致太だ靜謐、汽車の此の水郭を走る時碧水脚下に迫り、仰げば北に駒ヶ嶽の噴煙搖曳し一段の雅趣を添へ、風光極めて雄大且明媚であつて此處に遊ぶ者の初印象を遺憾なく驚嘆せしむる。

福山町　函館市の西方海路四十二浬、陸路二十五里で此の地は本道開拓の發祥地として最も古く、松前氏累世の封地たりし所で往時は富豪多く居住し繁盛を極めたが、維新後は港灣の不良なるにより漸次衰退した。城址及寺院等舊蹟多く、今尚盛時の面影を殘し賞覽すべき所少くない。福山城は町の北方にあり慶長十六年松前慶廣の築造に係るもので、現今僅かに三層樓の一部を存するのみであるが、以て往年の宏麗を偲ぶべく、城春にして草木青き感慨を深くするものである。

江差町　函館本線本郷驛より西方十四里、此の地は本道に於て福山町と共に最も古く發達した所で昔時は運上所を置き漁業の中心地として繁盛を極めたが、近年附近漁獲物の減少と他港灣の發達により幾分衰運に陷つたが今尚漁家多數存在し盛時の面影を殘してゐる。現在人口は八千二百人である。

八雲町　噴火灣に臨み遊樂部川口に在る町であつて、附近一帶地味肥沃各種農產物多く殊に馬鈴薯栽培と澱粉製造は古くより知られ八雲澱粉の名聲は市場に高い。德川農場は八雲驛より南八町に在り地積約四千町歩を擁し其の特殊的經營によつて知られ、又日本乳製品株式會社工場ありて附近製產の牛乳を原料として煉乳及バターを製造してゐる。人口は約一萬五千人を算へてゐる。

(二)　小樽市及其の附近

小樽市　函館市と共に本道の二大關門であつて、地勢は北西南の三方に丘陵を負ひ東方一帶海に臨み自然の良港を爲し遠く石狩及天鹽の諸山と相對して居る。明治初年の頃は一小村に過ぎなかつたが、本道拓殖の開發に伴ひ漸次發達し內外取引盛に行はれ、且樺太航路の發着點であり常に內外の船舶出入頻繁にして函館と共に本道商業の中心地を爲し、現在人口は約十五萬人を數へてゐる。官公衙の主なるものは小樽市役所、同區裁判所、同稅務署、函館稅關小樽支署、小樽爲替貯金支局、專賣局小樽出張所及蘇國領事館等あり、銀行には日本銀行小樽支店、三井、三菱、第一、安田及十二銀行の各支店及北海道拓殖銀行支店等あり、會社には北海製罐倉庫株式會社及三井物產小樽支店等あり又學校としては小樽高等商業學校がある。小樽公園は市の後方丘山にあり地積十萬坪、天狗山を背景とし前面全市を望み港內の景趣一眸に萃め、附近には優に數萬人を容るゝ一大運動場がある。更に手宮の古代文字は手宮驛より北西數町、道路に沿うた石壁に一種の彫刻あり其形狀奇異にして石器時代の事を記せるものなりと云ひ、又クルニークル古代の文字なりとも云ひ其の說區々として明かでないが好古の人の看過すべからざるものである。

岩內町　函館本線小澤驛より分岐せる鐵道の便あり、現在人口約一萬六千人で西海岸中小樽に次ぐ要港で既に築港は完成し益々發展してゐる。附近農產物の集散地たるのみならず古くより鰊の本場として知られてゐる。

余市町　現在人口一萬九千七百人を有する此の地方有數の澹農地で殊に林檎と鰊で有名である。又海に臨みて北海道水產試驗場があり東方に蘭島海水浴場がある。

羊蹄山　函館本線比羅夫驛から東三十一町の所にあり蝦夷富士と稱せられ宗教的に道民の崇敬をうけてゐる山である。海拔六千百餘尺、八面玲瓏たる山姿の美は諸山を網羅し北海道隨一の靈峯である。又山頂の眺望雄觀限り無く頂上には高山植物多く珍木奇草に富み之れが學術研究のため登山する者が少くない。

後志地方のスキー地　此の地方の山岳特に「ニセコアンヌプリ」、「イワオヌプリ」、「チセヌプリ」及目國內岳は冬季及初春季スキーの好適地として知られ、抑々北海道帝國大學スキー部が昆布の青山溫泉を根據として練習を爲したるに始まるもので、風景、雪質及山岳の配置等單にスキーの好適地なるばかりでなくスキーヤーならでは味ふことの出來ない感興の深い山岳多く、之に配するに溫泉適所にありスキー地としては北海道隨一であつて既に東洋の「サン・モリッツ」の稱がある。

「ニセコアンヌプリ」に登る足場となるのは函館本線昆布驛より入る青山溫泉、比羅夫驛より入る山田溫泉、俱知安驛より入るニセコ溫泉である。雪晴に惠まれた日此の山のスキー滑降は北海道廣しと雖他に類を見ない壯快を味はふことが出來るものである。「イワオヌプリ」は「ニセコアンヌプリ」の東北に對峙してゐる山で、「ニセコ」との間に介在する「ニセコ」溫泉を根據とすれば初心者でも容易に登

れる山であつて、「ニセコ」に訪れる者が其の餘勢を驅つて登るには恰好な地點にある。「チセヌプリ」の麓には湯本溫泉があり、又青山及新見溫泉などよりも登路が拓けてゐる。目國內岳は「ニセコ」に發したる山脈の最後の花を飾るべき位置に在り此の山に登るには新見溫泉を足溜りとする方が岩內町を足場として登るよりも良いとされてゐる。羊蹄山をスキーに依つて登行を試みる場合には俱知安驛より一里半の地點に在る半月湖畔の臨湖亭を根據とするを良しとする。本道中部の山脈及日高山脈を除く最高峯であるからスキー登山は容易ではない。頂上迄スキーで登り得る事は稀で、多くは六七合目迄でそれより上はスキーをアイゼンに代へなければならぬ。普通にスキーの山として考へるよりも、登山に修練を持つ人の山として考へられてゐる。

(三) 札幌市及其の附近

札幌市　本市は本道の首都で石狩原野の西隅に位し現在人口約十八萬人に及んでゐる。此の地は元森林草莽の蔓れる一原野に過ぎなかつたが、明治二年開拓使此の地を相して本道開拓の根據として市街を開いて以來今日の隆昌を見るに至つた。市區は大通道遙地を基準として南北に分ち、創成川を以て東西に細分し街衢整然、道路廣く人家櫛比して都市の雄大なる事全道に冠たるものである。而して諸般の文化的施設は年を逐ふて整備し、本道に於ける政治及學藝教育の中心地とし且工業地として本邦有數の地位に達してゐる。主なる官公衙は北海道廳を初とし札幌稅務監督局、札幌鐵道局、札幌遞信局、札幌鑛山監督局、帝室林野局札幌支局、札幌控訴院、同地方裁判所及區裁判所、札幌市役所、石狩支廳及第二十五聯隊、近郊琴似村には農事試驗場及工業試驗場等があり、銀行は北海道拓殖銀行及第一銀行、安田銀行、十二銀行支店等あり、會社は北海水力電氣株式會社、大日本麥酒株式會社支店、日本製麻株式會社支店等あり、又北海道帝國大學の所在地である。附近の遊覽地として驛の西南約一里圓山公園あり、札幌神社は公園の北西側に隣して神寂びて鬱蒼たる神域に鎭座する。官幣大社にして大國魂神、大石貴神及少彦名神の三神を祭る。境內は閑雅にして松杉參差の間櫻樹散在し景趣に富んでゐる。而して神社境內の西方には最近施設に係る綜合グラウンドがある。植物園は道廳の背後に在り北海道帝國大學の附屬にして地積三萬餘坪、園內芝生を以て歩道を劃し幽邃閑雅の境にして博物館及溫室の設備がある。中島公園は市の南端に在り背後に藻岩の層巒を仰ぎ豐平川の支流蜿蜒として流れ潴して清池を爲し風景清雅である。而して園內に各種の運動場あり市民の清遊地又娛樂場となり、池の東南岸に廳立の拓殖館あり本道の產物及製品を陳列し一般觀覽に供してゐる。

眞駒內道廳種畜場　札幌より南二里の所にあり地積約三千町歩にして各種の家畜を飼育し、豐平川の清流に沿ひ曠漠たる平原に綠草濃かな所牛馬の群遊する光景は得難い情趣であつて本道獨特の勝景である。尙札幌市の東南二里にして高燥なる原野に農林省月寒種羊場がある。

定山溪溫泉　札幌市豐平驛から十六哩二分、定山溪鐵道の終點に在る。此の溫泉は豐平川上流に跨り

山水の絶景を兼ね旅館浴場完備し、春は櫻花咲き亂れ夏は青葉滴り秋は滿山錦を織り冬は白皚の雪四邊を蔽ひて四季の眺麗しく又本道特有の椴松、蝦夷松及白樺等の林が山と溪谷を覆ふてゐる。溫泉河岸に噴湧し泉質は無色透明の食鹽泉で諸病に特效あり四季遊覽療養の客が絶えない。又附近上流に豐平峽の勝地あり、兩岸に岩山屹立し峽谷深碧を湛へ、秋紅葉の頃其の絶佳の景致を謳はれてゐる。

野幌原生林　札幌郡野幌附近に在り北海道廳林業試驗場の管理する所で面積三千五百餘町歩、椴松と蝦夷松の大密林で天然記念物として保存されてゐる。近年此の原始大森林内に本邦最初の組織的キャンプグラウンドを拓き林間夏期大學が催さるゝに至つた。

江別町　石狩川と江別川の合流點に在り現在人口約二萬で王子製紙工場あるを以て著名である。

岩見澤町　函館本線と室蘭線の分岐點で本道交通の要衝に當り附近能く開拓せられ農産物の產出多く米、麥、豆及亞麻等の集散地である。而して空知支廳の所在地であり現在人口約三萬を算する。

札幌市附近のスキー地　札幌地方は地形上逍遙地多く從つて冬季スキーに依る遊步と登山の快味を滿喫するに頗る惠まれ、雪質の良好及設備の配置其の他種々なる點に於て他に類を見ない好條件を具備してゐる。附近の丘陵山岳一としてスキー地として適せざるはなく、要所々々の足溜りには十指に餘るヒユッテ（山小屋）あり、設備極めて簡素にして快適競技を樂しむ者に應はしく、白皚々たる山肌に原始林の聲を聞きつつ暫くは此處に憩ひて身の塵外にあるを喜ぶであらう。札幌市の西方には日歸りのスキー行樂に適當なる百松澤山及砥石山があり、其の山に達する迄の圓山及藻岩山附近は數時間の餘裕さへあれば容易にスキーを樂しむことが出來るもので札幌郊外は宛然スキー遊步場の如き樣を呈してゐる。而して圓山附近は競技場として設備の全國第一を誇る大倉シャンツエを有し、且レースコースの中心をなす故競技季節には幾多のスキー競手が此處に集る。

小樽市に於ける競技場としての設備は札幌市附近と共に競技場としても亦一般スキーヤーの爲にも全國的に見て實に秀でたる設備を有し、一般山岳登行者の爲に建設されたるヒユッテは手稻山パラダイスヒユッテを始めとし十數箇所を數ふるに至つた。之等のヒユッテを中心として數々の山々卽ち白井岳、朝里岳、余市岳、手稻山、奥手稻及春香山等に一日或は數日の走行を試みれば初心者も雪山の醍醐味を味はふことが出來るであらう。

又定山溪鐵道を利用すれば札幌より日歸りで札幌岳、天狗岳或は無意根山へスキー登高が試みられる。特に無意根山は積雪期間永く眺望頗る絶佳靈峯蝦夷富士を望み得るし、且女流スキーヤーすら容易に登山し得る點に於て最も親しまれてゐる。歸路薄別及定山溪溫泉に一浴して歸る者も多い。

石切山又は廉舞より入る空沼ヒユッテを根據とすれば、空沼岳、狹薄岳或は札幌岳には容易に登り得る。尙此の山小屋は秩父宮殿下御來道の砌御建設遊ばされたものである。又定山溪の奥に在る薄別溫泉及奥無意根ヒユッテを足場としては無意根山及喜茂別山の登行は容易にして且スキーの仙境中山峠

へも達することが出來る。

(四) 旭川市及其の附近

旭川市　本市は本道の中央部四周連山を繞らしたる高地性盆地の中央に位し、天產豐密なる上川沃野の中心地であつて石狩川及其の支流の合流する所に井然たる街衢を連ねてゐる。第七師團の所在地であり陸路交通の要衝に位し今や人口八萬五千餘に達し市區宏壯にして整然たる都會である。而して本市は交通至便なる上附近に廣大なる原料給供地を控へる關係上之が貨物集散地として商工業良く發達してゐる。主要官公衙は第七師團司令部、上川支廳、旭川市役所、旭川地方裁判所、旭川運輸及保線事務所、鐵道省北海道建設事務所等あり、更に安田銀行、十二銀行及拓殖銀行支店等がある。遊覽地としては市の中央に常盤公園あり又驛の南方約二十町に神樂ヶ丘あり上川神社の所在地である。

大雲山國立公園　本道の中央に位し石狩國上川及空知二郡六箇町村、十勝國河東及上川二郡四箇町村に跨り面積約二十三萬四千町歩の廣大なる區域を擁し本邦國立公園中第一位の面積を誇るものである。而もその大部分は國有地及御料林に屬し一部は公有林であるが全然私有地を含まない。此の天然公園の雄大壯麗は到底筆舌に盡しがたく、山姿湖鏡頗る變化に富み、深淵溪谷其の岳麓を縫ひ造化の妙を盡し神祕高雅の至境である。卽ち旭岳、北鎭岳及凌雲岳等二十數峰雲表に聳え何れも二千米に達する火山群で北海アルプスの稱があり、眺望雄大で高山植物、昆蟲の多種と地質構成の驚異は學術的研究

の資料として全國第一である。此等山岳を發源地とせる石狩川に沿うて層雲峽あり上川驛より六里定期自動車の便ありて、溪谷深く密林鬱蒼として茂り鹽谷溫泉を初とし溫泉各所に湧出し更に此所を遡ること十八町銀河の瀧、流星の瀧斷崖に懸りて五十丈、更に遡ると大函及小函の奇觀あり、卽ち石狩川の碧流を扶け兩岸幾百丈の奇巖屛風を立てたるが如き深峽の續くこと一里にして、規模宏大實に天下の絕景である。更に忠別川に沿ふ所に勝仙峽あり附近の松山溫泉と共に知らる。而して大雪山一帶の地域は昭和八年十二月國立公園として指定された。

神居古潭　上川及空知兩支廳の境界にあり、蜿々百里の長江石狩川は狹つて兩岸相對峙する所奇巖怪石碧淵に躍り、鐵道沿線溪谷の絕勝として古くより知られてゐる。こゝから數町原始人の居住した竪穴あり、石器及矢の根石等を出し史蹟記念物の指定地となつてゐる。

瀧川町　石狩川南東空知川に臨み兩流の合する所で附近地味肥沃な農村を控へ、將來益々發展の餘地があり人口は一萬三千である。尙附近に北海道廳種羊場がある。

深川町　函館本線より留萌及多度志線の分岐點として交通上の要衝に當り、石狩平野の東北端雨龍平野の中心地で附近農村は地味最も肥え農產豐從つて其の集散盛んであり現在人口九千である。

砂川町　石狩川の左岸に在り石炭の產地として著名な歌志內及上砂川に至る鐵道の分岐點であつて、人口二萬二千にして上砂川には三井鑛業所がある。

本道中央部のスキー地　大雪山國立公園地帯を擁する此のスキー適地は、此處に重疊する數々の峻峰が何れも二千米以上の標高を有する山であつて、スキー地としては最高級の技術を持つ者のみに與へられたる殿堂と云ふべきである。

十勝岳附近のスキー地は既に中央に於ても知れてゐるもので、上富良野驛より約四里程緩傾斜を登つたところに吹上溫泉あり、而して其の附近に建てられた白銀莊竝勝岳莊を根據として十勝岳、上ホロカメトック及富良野岳等に登る事は普通に行はれてゐる。十勝岳は高いといふだけで極めて登降に樂な山ではあるが、他の諸峯は何れも相當の技術、就中登山技術の優秀な人々にのみ許されたる山である。尙此の根據地はオプタテシケ連峯を越えて遠く大雪山へ向ふ縱走路の基點乃至は終點として冬季登山には重要な地點である。此の地方は後志、札幌地方と異り二千米級の山岳が聳立相對峙してゐる爲、其の眺望雄大なる點で冬季スキー地としては申分のない豪快さを味はふことが出來る。

大雪山附近は最近拓かれたスキー地であるが、其の足場となる愛山溪溫泉は安足間驛を去る約五里の地點にあるため交通が至つて不便である。然しその途中は造材小屋のための馬橇路が拓けてゐるので其の大半の路を馬橇で行くことが出來る。

旭嶽を主峯として、北鎭、比布、永山及、愛別等所謂北海道の屋根を形成する諸山が相競ふて竝んでゐる壯觀は誠に北海道の最高スキー場としての價値があらう。然し乍ら此の何れの山の頂もスキーのみを以てしては容易に達する事の出來ない程の嶮しさを有してゐる。此の附近は所謂遊ぶ氣持ちでは一寸行かれない。相當の準備と技術を以てして始めて快適なスキー地と看做す事が出來るものである。冬季に於ける此の附近の登山は歷史的に見て極めて最近に行はれ出したものであるが國立公園の認定に依つて急劇な勢で發展する事と思はれる。

(五)　室蘭市及其の附近

室蘭市　本市は本道の南部に當り三面山を繞らし港口相迫り港内水深く天然の良港である。明治初年の頃道路開鑿の爲開きたる土地で爾後漸次發達し一般の商業は未だ函館、小樽に及ばないが石炭の供給地として外國船の寄港多く、且つ木材輸出に便なる爲内外船舶の出入殷賑を極めてゐる。重なる官公衙としては市役所、膽振支廳、區裁判所及稅務署等にして、銀行は第一、安田、十二銀行及拓殖銀行支店等があり又本邦有數の工場たる日本製鋼所がある。尙長輪線の開通以來本土方面との鐵道交通上一般の利便を來し、更に海運に於ても青森、室蘭の定期航路ありて海陸の運輸交通の要地であり現在人口約五萬六千を算するに至つた。

登別及カルルス溫泉　室蘭線登別驛より北方約二里にして電車の便あり、溫泉一帶は四圍峯巒を繞らし谿流に臨み俱多樂湖、橘池及天然記念物登別原生林を包含する風光佳絶の地で、泉質多種にして湯量豐富である。又設備周到にして世に聞えた名泉で湯元地獄谷は溫泉市街の北方にあり、地底から噴

出する熱湯は流れて河を成し白煙濛々と四邊を罩めて凄絶の極みである。尙チエツコの名泉カルルスバードに湯質が類似してゐる爲其名を採つたカルルス温泉は登別温泉より西北一里半自動車の便あり旅館の設備も良く整ひ、附近は幽寂閑雅にして橘池及オロフレ山、來馬山等がある。

洞爺湖　室蘭線虻田驛より電車又は自動車の便あり湖の周圍九里二十七町、深碧實に六百二十尺、藍澄にして明鏡の如く、中央に翠巒の中島を浮かべ、遙に秀麗なる羊蹄山を望む。湖畔床丹温泉の背後には奇峯を誇る二重式活火山有珠岳聳立し、山頂よりの大觀は湖面を隔てゝ間近く羊蹄山と相對し、噴火灣の彼方遙に駒ヶ岳の雄姿を望み洵に風光明媚であり、湖上にはモーターボート、發動機船等の遊覽設備があつて周遊に便宜である。

白老土人部落　室蘭線白老驛の南約四、五町位にあり戸數八十餘戸、人口約三百六十人餘にして主として漁農に從事し家屋の構造其の他生活樣式は今尙舊態を存するものあり研究資料に乏しくない。

苫小牧町　此地は漁業を先驅として開けたが、明治四十五年本邦著名の王子製紙工場の設立により戸口頓に增加し今や人口二萬一千人を示すに至つた。近時日高地方の開發に伴ひ之が交通の要衝に當る關係上將來は益々發展せんとしてゐる。

支笏湖　苫小牧驛より西北六里の位置にあり同驛より王子製紙會社の專用鐵道が通じてゐる。湖は周回九里三十町、深さ千百八十餘尺に及び汪洋たる藍碧の清水を湛へて一面の大なる明鏡の如く、湖岸には樽前、惠庭等の火山連繞し山紫水明にして殊に樽前の頂上の溶岩丘より白煙を噴ける樣は實に壯觀の極みである。尙湖畔に姫鱒人工孵化場あり又湖より流れる千歲川には鮭鱒人工孵化場と大規模の水力發電所がある。札幌より自動車道路の開鑿ありて四時觀光の杖を曳くに至つた。

夕張町　西北海道と北九州は本邦に於ける二大產炭地であるが其の北海道の石炭は夕張に依つて代表せられる。而して當礦山は本邦石炭業界の重鎭北海道炭礦汽船株式會社の經營に係り、炭質良好と埋藏量豐富及規模壯大を以て有名であり私設鐵道夕張線は此の夕張炭搬出の爲敷設されたもので、夕張驛附近に於ける一日の採炭能力は五千噸に上り從業員も約一萬に近い。而して炭礦により發展せる本町は現在四萬を算ふる都市となつてゐる。

(六)　釧路市及其の附近

釧路市　本市は釧路平野の南端釧路、阿寒兩河川の太平洋に注ぐ所にあり、東北海道隨一の良港で其の大規模の築港工事も既に竣成に近く十勝、釧路、北見及根室地方物資の集散市場として榮え、又各種水產物、雜穀、石炭、畜產及木材等の移輸出が盛んである。本市發達の始めは漁村であつた爲往時は殆んど水產物に限られてゐたが、交通運輸の機關備はるに從ひ漸次商工地として擡頭し輓近更に機械工業の發達に促され製材、製紙及水產物加工等の工業に著しい變革を見、尙附近炭田の開發により石炭の產額は年々增加しつゝある。主なる官公衙としては市役所、地方裁判所、鐵道運輸、保線兩事

務所、築港、土木及治水兩事務所、釧路國支廳及營林區署等があり、更に銀行は拓殖銀行、安田、十二銀行の各支店があり尙近郊鳥取村には製紙工場がある。現在人口は約五萬二千に及んでゐる。尙遊覽地としては市の東方約十町の所に春採湖あり、周回一里半眺望幽雅にして湖岸の丘陵地は公園の豫定地であり又附近には舊土人の遺跡が多い。

釧路市アイヌ遺跡地　釧路市城山町（舊名茂尻矢町）に在るチヤシ（御供山）はアイヌ語でポロチヤシと言ひポロは大、チヤシは砦の義である。チヤシは城山町背後の丘陵の一端に在つて一段と高く山形をなし、丘陵に續く後方に空濠を掘り之に連なつて周圍に中段を設けて遠くより望むと大小二箇の鏡餠を重ねたやうである。僅か二十歩で盡きる頂上より眺めると、西北の釧路川を距て鳥取大原野及釧路港灣が展開し、東は丘陵匍匐して遠く阿寒の雄峯を指呼し得べく風光自ら雄大である。

チヤシの築造は約二百年以前で本道現存チヤシ中最古のものである。砦内からは貝塚、土器、石斧、石簇及鐵片等が遺物として發掘されたが、保持の方法粗漏のため地方人に持去られ小兒等の遊戲場と化してしまつた。昭和四年に至つて史蹟名勝天然紀念物假指定地に編入せられ、市内青年團に依り接續地に櫻樹其他が植栽され市も禁札を揭げ取締をして居るが殆ど荒廢して居る。竪穴は市内高臺に散在し就中上記チヤシに接續する天寧驛南方の丘陵地帶に多く又同地域には貝塚が在る。

上述の如く本地域は史蹟名勝天然紀念物假指定地となつたが更に進んで積極的に道立公園として完全なる保存をなす必要を認めらるゝに至つた。

阿寒國立公園　阿寒國立公園は本道の東北部に位し釧路國川上、阿寒及足寄の三郡竝に北見國網走郡の一部に跨り、阿寒盆地、屈斜路盆地及摩周盆地を抱擁する八萬八千餘町歩に達する廣大なる地域を占め其の大部分は千古斧鉞の入らざる針濶混淆の大原始林を以て覆はれ、雌阿寒嶽、雄阿寒嶽及摩周嶽あり、阿寒湖、屈斜路湖及摩周湖あり、又其の間至る所に溫泉湧出し、釧路川及阿寒川は山間谿谷を縫ひ蜿蜒として流れ、淸流あり瀑布あり其の風光の明媚なると景觀の雄大なることは蓋し他に類を見ざる處である。

阿寒湖は釧路市から約十里にして、釧路と北見の國境附近にあつて稍々三菱形をなし、周回二十六粁の火口原湖である。湖岸一帶は奇岩怪石蟠り檜松、蝦夷松の原生林が水面に迫つて凄壯極りなき景觀を呈してゐる。湖上には大島、小島、ヤイタイモシリ、チウルイモシリ等翠巒の小島を浮べて一層の美觀を添へ、又阿寒川の落口にあたる瀧口は點々十數箇の庭石の如き小島を浮べて宛然小松島の觀がある。本湖獨特にして有名なる毬藻（マリモ）は「シリコマンベッ」、「チユウルイ」「ケネタンベッ」附近にのみ棲生する。湖中には魚類は豐富で姫鱒は本湖が原産地であつて十和田湖及中禪寺湖の姫鱒は本湖から移殖されたものである。

雄阿寒嶽は阿寒盆地の中央活火山で富士形の雄姿を示し、海拔千三百七十一米餘、頂上近くまで針葉樹

の密林に蔽はれ頂上には偃松と無數の高山植物が密生してゐる。山麓には阿寒湖、パンケ湖、ペンケ湖等があり何れも原生林に圍まれて今尚太古の面影を殘し大自然の威力に壓迫される感がある。登山道路は南麓の雄阿寒ホテルより約八粁餘に過ぎず登攀せば自ら神祕幽邃の感を深くするであらう。雌阿寒嶽は湖畔溫泉から西南十二粁半にあり、海拔千五百三米、山麓一帶は原始の密林に蔽はれ、山腹は珍奇なる高山植物多く、山巓には暗綠色の湯沼（青沼）、暗赤色の湯沼（赤沼）があり、其の四周には爆發龜裂があつて凄愴を極めてゐる。噴火口は青沼から約三十六米離れ口徑三百三十米あり、常に硫氣を噴出し其の上昇約三十米に及んでゐる。眺望すれば視野頗る廣く群峯脚下に連りて雲海の小島の如く、遙かにオホーツク海及太平洋を雲煙の間に指呼し、又目を轉じ釧路及十勝の平原を望めば、遠く石狩嶽、大雪山を指呼し得て其の絶景は到底筆舌に盡し得ない。登山道は湖畔口、足寄口、ピリカネップ口の三道あり登山容易である。湖畔口から登ることは一番樂で幅員二米の立派な登山道（約十二粁）があるので少年少女でも容易に登山してゐる。足寄口は網走線足寄驛から約五十五粁、ピリカネップからは約十一粁八である。

屈斜路湖は川湯溫泉から僅かに三粁、川湯驛よりは七粁八の地點にあり周圍四十八粁、水深百二十五米あり本道第二の大湖で釧路川の水源をなしてゐる。碧水滿々と湛へて海洋の如く中央には密林に蔽はれたる周回十二粁の中島（トウモシリ）を浮べ頗る天然の風光に富んでゐる。又四圍には山巒を繞らし北方の湖岸は稍々山麓迫りて急崖をなし、海拔一千米の藻琴山を頂點として左右になだらかな傾斜をなしてゐる。又湖の西南湖岸には到る處溫泉が湧出し其の主なるものは池の湯、赤湯、砂湯及仁伏湯等である。

和琴半島は屈斜路湖の西南岸より突出せる周圍四粁の半島であつて廣大にして單調に過ぐる湖景に變化を添へ、全島は熔岩丘で鬱蒼たる樹林は水面に迫つてゐる。半島の北端と附近の湖中には無數の硫氣孔があつて盛に噴氣し熱泉が湧出してゐる又半島の基部には良質の溫泉が天然風呂をなし原始的氣分が横溢してゐる。

美幌峠は川湯驛より約三十七粁で展望の雄大と風光の明眉とを以て著名である。藻琴山の西方山麓に當り海拔五二五米の高原で視野頗る廣く前方眼下に屈斜路湖を俯瞰し遠く斜里岳、摩周岳及標津岳を望見し、後方には廣漠たる北見原野際涯なく遙か地平線上一刷毛の白線を描いてオホーツク海を望見し得ることが出來る。

川湯溫泉は川湯驛より白煙濛々たる硫黄山の奇景を左に眺めて行くこと三粁半、赤蝦夷松の純林に圍まれたる溫泉旅館の市街地である。清澄なる熱泉は流れて大小數條の川となり之を名づけて川湯と稱す。涼々の音は旅人の夢を驚かす程である。

硫黄山は川湯驛の西北方一粁半の地點に在り海拔五一〇米の活火山であつて全山爆發の殘骸を爲して

溶岩累々として一大奇觀を呈して居る。頂上中央火口丘の東方には所謂熊落しの爆發口があり、西方にも噴火口を存してゐる。又山麓から頂上に至る迄大小無數の噴氣孔からは百雷の如き大音響を發して鬼氣迫り、硫氣を噴出し硫黄塔を築く狀はさながら造化の奇術である。全山偃松、ガンカウライソツツヂ等の高山植物にて蔽はれ、山麓の大平原には白樺點々たる中にイソツツヂ、偃松密生し其の自然美の配合には驚歎の外ない。

摩周嶽は摩周湖の東壁に聳へ海抜八五八米の休火山で、怪奇なる山容は湖に迫つて一種凄愴の感を深くする。火口壁内は樹林が鬱蒼と繁茂してゐる。頂上からの視野は頗る廣濶雄大で脚下數百米に紺碧の摩周湖があり、西方には雌阿寒岳及雄阿寒岳、北東に斜里嶽、標津嶽を望み眼下には釧路及根室の平原が際涯なく展開し遠くは太平洋及オホーツク海の波光を見る事が出來る。

摩周湖は弟子屈驛の東方約九粁の山間に在り摩周嶽の中腹にある火口原湖で、長徑七粁半、周圍二十三粁海抜三百五十米、水深二百八米あり、湖の中央に高さ二十五米の小島カムイシュがあり、碧澄なる水は流出流入の一河川なく太古宛らの神祕を宿してゐる。湖岸は約二百米餘の絶壁を繞らし千古の神祕境である。而も三方鬱蒼たる原生林に圍まるゝに至つては凄愴の氣茲に於て極まる。

弟子屈溫泉は弟子屈間の中央部塘路驛の西方約二里の地點ツルハシナイ川と釧路川との合流點にあり、市街約三百餘戸、國立公園地遊覽の中心地である。市街の旅館及び料亭には何れも内湯の設備あり四季を通じ遊覽者と湯治客にて賑やかである。又鐺別溫泉は弟子屈驛より約一粁餘、鐺別川にのぞんだ閑靜な溫泉場で春は櫻の名所として賑つてゐる。

丹頂鶴の棲息地　釧路、弟子屈間の中央部塘路驛の西方約二里の地點ツルハシナイは丹頂鶴の棲息地として有名である。日々鐵道沿線附近まで遊飛する。往復の遊覽客は時に汽車の窓より之を眺むる事が出來る。

右は阿寒公園の代表的名勝の概説であつて、此處に遊ぶ者は恐らくは箇々獨特の興趣を感得するであらう。

厚岸湖　釧路と根室の中間厚岸町に在り厚岸灣に連る周回七里の鹹湖で牡蠣を多く產し湖中に數多の牡蠣島がある。附近には北海道三大古刹の一たる國泰寺あり又北海道帝國大學の臨海實驗所がある。

(七)　根室町及其の附近

根室町　根室本線の終端我國鐵道の最東端に位し人口約一萬八千にして、開港の歴史は相當古いが港灣は冬季結氷し船舶航行の不便なる爲餘り發達せぬが今尚千島、カムチヤツカ方面の出漁根據地であり海產物の輸出港として重要な地位を占めてゐる。根室公園は驛の東北約十町、根室灣に臨み晴天の日には千島及國後方面の島山を眺望することが出來る。

野付半島　中央はもとより本道に於てさへまだよく知られてゐない勝地として野付半島がある。根室

本線厚床驛より別海を經て春別に至り、こゝより春別に至る海岸並半島部を最も優れたる景勝地とするものである。

野付半島は砂丘によつて形づくられ、其の狹長なる地形は野付灣を形成し數箇の小島を散布してゐる。約七里に渉る本半島は外面オホーツク海に面し海洋三里の彼方に國後島を望み、草木鬱蒼とし特に蝦夷松及椴松等の老樹矮生し特異なる景趣を呈し、秋紅葉の季ともなれば眞紅松の濃綠に照り映え、又四時三角帆を張れる漁船數十艘眞に明鏡の如き灣内に浮ぶが如き景興に至つては其の風光明媚にして雄大を極めたる樣大町桂月ならでも天下の絶景なりと三嘆するであらう。且灣内には魚介多く産し又附近の農漁村は所謂名所化せざる素朴の寒村なれば、此の大陸的景勝地の興趣を味得するには頗る好適せる自然環境と云へよう。

養老牛溫泉　根室國標津村に在り溫泉は未だ素朴閑寂を極めてゐる爲都人士の俗腸を洗ふに適はしく、附近一帶標津岳麓の原始祕境であつて奇峰峻岳數多く極めて展望に富み、且阿寒公園の神祕境摩周湖に通ずる道路の完成を見るに至らば中央に其の祕境を知らるゝに至るであらう。

(八)　帶廣市及其の附近

帶廣市　十勝國の中央に位し十勝支廳の所在地であつて、此の地方は土地平濶にして頗る廣く附近耕地開け農產物豐富にして此等の雜穀の市場であり又馬產地として有名である。尙附近一帶は工業地化し卽ち附近の川西村に北海道製糖會社工場、清水村には明治製糖會社工場がある。而して本市は人口三萬二千で昭和八年四月一日より附近村落を併合して市制が施行された。

狩勝峠　日本新八景の一で石狩、十勝兩國境に位し海拔約一千八百尺にして、本道沿線中の最高地に位し瀧川から根室線により約五時間である。汽車が此の峠に入るや蜿蜒九折眼下には曠漠たる十勝の大平原を展望し其風光實に雄大で全國第一の壯觀である。

然別湖　帶廣から北方約十四里にありて然別川の水源地をなし海拔二千六百尺の高所に在る湖水で、湖岸悉く原生林で中央に一小島があり幽寂極みなき原始的山湖である。帶廣市よりこゝに至る所に扇ケ原の高原あり展望頗る宏濶である。

廣尾海岸襟裳岬附近　十勝國の南端に位する十勝唯一の港灣廣尾港を中心とし、廣尾市街より南方日高國境方面に至る海岸と襟裳岬附近一帶に渉る海岸は前面太平洋の怒濤岩を嚙み、後に日高山脈の海岸に迫りて斷崖をなす所有名なる險岨であり、從つて凄壯雄渾なる大觀を展開せる樣は未だあまりに中央に知られて居ないが、永き歲月と巨費を以て客年初冬に完成せるドライブウエイは此の海岸に沿ふて走り、此處に遊ぶ者は變化壯絶極みなき此の景觀を滿喫し得るであらう。

此の地方は古くよりアイヌ族の割據鬪爭し和人も亦探檢せる所であつて、遺跡多く又口碑傳說に富む。寬政十年幕吏近藤重藏が擇捉島よりの歸途風雨に阻まれて、廣尾、幌泉間の險難なる海岸を行くこと

能はずして滯留數日に及び遂に重藏は道路を開鑿することを思ひ立ち、從者をして之が開鑿の指揮監督を爲さしめ、以て「ルベシベツ」より「ピタタヌンケ」に至る山道三里弱を拓き之が顚末を記し板に刻したるもの今に十勝神社に傳はるものなどあり、往時を偲び今を思ひ轉々肅然たるものがあらう。

(九) 網走町及其の附近

網走町　網走は北見國斜里灣の西隅にあり北見東海岸に於ける隨一の良港であり、函館小樽から定期航路も開け附近は木材及農產物の集散が多い。網走支廳及土木事務所の所在地であり現在人口二萬六千である。遊覽地としては驛より西南三十町に三眺山ありて前に網走湖後に能取湖又左に網走町及帽子岩を遠眺するを得殊に春季の櫻花秋季の紅葉は賞すべきである。

野付牛町　網走線と湧別線の交叉點に位し交通上の要衝に當りて、豐穰肥沃なる北見平野の咽喉を扼し農產物の集散地であり又木製品を產出し新興活氣に滿ちた地で人口は二萬八千を算する。

置戸の大森林　網走線小利別驛より置戸驛に至る約十哩の沿線は針濶混淆の天然林多く、其の美觀を眺め車窓近く之が崇嚴なる原始大森林の靈氣に觸れることが出來る。

猿澗湖　猿澗湖の風光は大陸的雄大さと北洋に面する荒涼寂寞さに於て特筆すべき價値がある。遠淺の潟は清澄の水を湛え岸に立ち竝ぶ原始林の紫紺の影を浮べてゐる。春は躑躅の赤き、夏は樹々の綠なるを溶け入る清澄な湖であつて秋の紅葉と觀月の遊は名物の牡蠣と共に多くの人に親しまれてゐる。

温根湯温泉　留邊蘂驛より二里半清流武華川沿岸にあり、後方に山を負ひ附近一帶の地は亭々たる針葉樹林鬱蒼とし四季常碧の樹海を爲し其の雅趣は正に一幅の繪を見るが如く殊に雪の眺望に勝れてゐる。秋は岩層に叢生する濶葉樹の紅葉美しく、春は附近一面に密生するイワツツジの花馥郁とし且樹叢より鶯聲の轉び出づるを聞くに至つては實に感興盡せぬものがある。

(十) 稚内町及其の附近

稚内町　稚内町は宗谷本線の終端北海道最北の都會であり、而して本道樺太の唯一の連絡港として重要視され現今稚内大泊間及椎内本斗間の各航海の便がある。稚泊航路には碎氷船亞庭丸を使用するを以て亞庭灣結氷時に於ても航行確實となれる爲客貨の輸送數量は年々增加するに至つた。尙本町は宗谷支廳の所在地にして人口一萬九千を數へてゐる。

利尻山　稚内港を距る西南十海里の海洋中に突起せる五千六百餘尺の死火山で眺望佳絶で利尻富士の名がある。其の沿岸には鰊、昆布、鱈、蟹其の他魚介類無盡に產し本道の漁場として有數である。

(十一) 留萌町及其の附近

留萌町　日本海に面する樞要の港灣にして小樽港を距る北方五十六浬、背後に鐵道の便を有し海陸交通の要衝である。最近雨龍炭田及石狩、天鹽原野の開發と其の設備宏壯を誇る築港の完成に伴ひ貨物の集散益を增進し來たつた。留萌支廳の所在地で人口は一萬七千を算してゐる。

增毛町　留萌町の北方約十浬の地點にあり日本海に面せる港灣で毎春鰊の豐漁で有名である。現在人口は一萬である。

(十二)　浦河町及其の附近

浦河町　日高國の中心地日高支廳の所在地であつて人口一萬一千人である。由來日高の開發は其の緒は古いが海陸交通不便の結果功程進まぬ憾があつたが今や鐵道の開通と共に將來繁榮するであらう。

義經神社　平取驛より五町平取市街に在り義經を祀れる村社にしてアイヌの崇敬深い。尚此の地は本道中アイヌ族の舊都で今尚土人の大部落を爲してゐる。

新冠御料牧場　日高線靜內驛より約三里自動車の便あり、本牧場は地積三萬三千餘町歩を有し原野は牧草に富み寔に天惠の牧場で洋種、雜種及內國產等の駿馬を飼畜し馬匹の改良を計り牧畜業發達に裨益するところは夙に世人の知る所である。

庶野の櫻　日高國幌泉村大字庶野の裏手高臺地を以て櫻の勝地とするもので、日高國の西南端に位し峰巒重疊し襟裳岬に達する所、南は太平洋に面して海濱を距る五十米の箇所約三十町歩は天然の櫻樹を主林木とし中に雜木密生して小數の赤黑松と本道の有用樹種椴松を混淆してゐる。天然櫻樹少き本道としては隨一の名所であり三千本を數ふる櫻樹は五種あつて、太平洋の荒風によつて撓められたる樹姿は頗る雅趣に富むものである。

昭和十年一月二十七日印刷
昭和十年一月三十一日發行

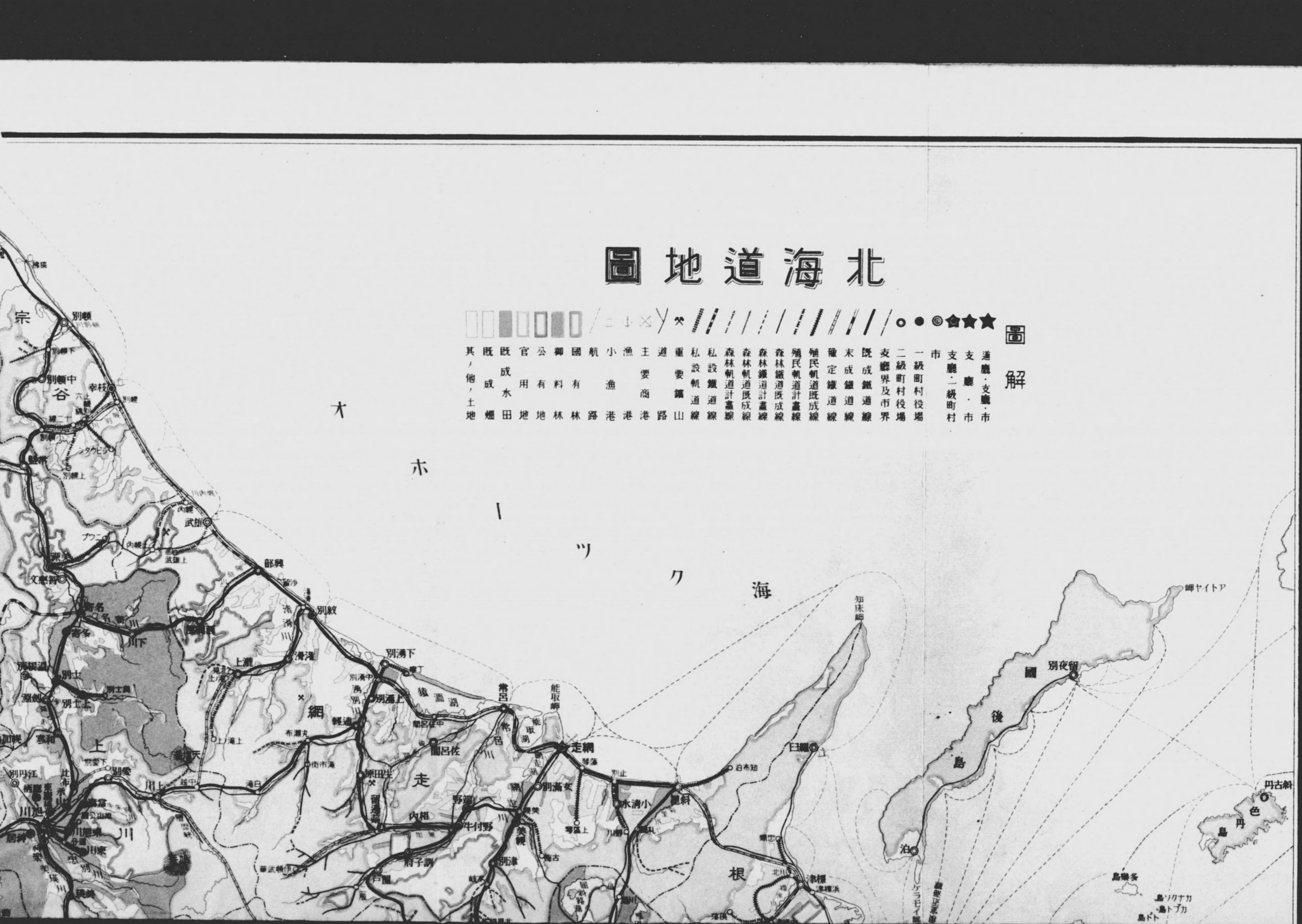
北海道廳

印刷所　東京市神田區美土代町十六番地　三秀舍
印刷者　東京市神田區美土代町十六番地　島連太郎

北海道地圖

圖解

- 道廳・支廳・市
- 支廳・市
- 支廳・一級町村市
- 一級町村役場
- 二級町村役場
- 支廳界及市界
- 既成鐵道線
- 未成鐵道線
- 豫定鐵道線
- 殖民軌道既成線
- 殖民軌道計畫線
- 森林鐵道既成線
- 森林鐵道計畫線
- 森林軌道既成線
- 森林軌道計畫線
- 私設鐵道線
- 私設軌道線
- 重要鑛山
- 道路
- 主要商港
- 漁港
- 小漁港
- 航路
- 國有林
- 御料林
- 公有地
- 官用地
- 既成水田
- 既成畑
- 其ノ他ノ土地


オホーツク海
別頓
別頓中
別頓下
幸枝
六止線
別線
線二十
別線
別線上
網走
別湯下
別湯中
別湯上
別湯温泉
常呂
能取岬
能取湖
知床岬
斜里
小清水
泊布知
巨網
泊
別夜留
後島國
岬ヤイトア
丹古斜
色丹島
島ソクナカ
島トブカ
島ドト
島巖多
根室
標津
標津浜
落石
別海
別海上
別海下
別士
別士上
別士島
別海温泉
別丹江
別丹
別丹上
別雲下
別雲
別雲中
別雲上
別川
別川上
別川家
別津
別線
別線上
別線下
別線中
別線上
別線下
別線中
別線上
別線下
別線中

日
本
宗谷
留萌
上川
空
網
内稚
宗谷岬
納沙布岬
泊船
泊上西
祝文島
井深香
地元
床知
深香
泊鷲
島尻利
山尻利
形谷
志法仙
脇鬼
拂猿
別頓
別頓中
幸枝
延幌
川塩天
塩天
川中
別遠
別山初
鹿鬼
前宮
羽
武雄
部興
別紋
上瀧
滑瀧
別湧下
別湧上
輕遠
原田生
川下
別士
別士上
別士興
別雲
別雲下
川旭
川東
川旭東
居神
江音
乙部江
平赤
益濱

ツ
ク
海
太
日
高
上
川
網
走
根
室
釧
路
十
勝
國
後
島
色
丹
島
部興
別紋
別湧下
別湧上
常呂
走網
別夜留
丹古斜
泊
津標
室根
田和
舞歯
中濱
岸厚
田太
路釧
森布昆
取島
茶標
別津
別達
別音
幌浦
津大
樹大
正大
西川
廣帯
室芽
影御
水清
更音
幌士
別本
西足寄
寄足
別海
別寄
別夜留
知床岬
ケラモイ岬
ヤイトア

本

海

留萌

増毛

小平

苫前

羽幌

焼尻島

天売島

別山初

雄武

武朗

部牌

別紋

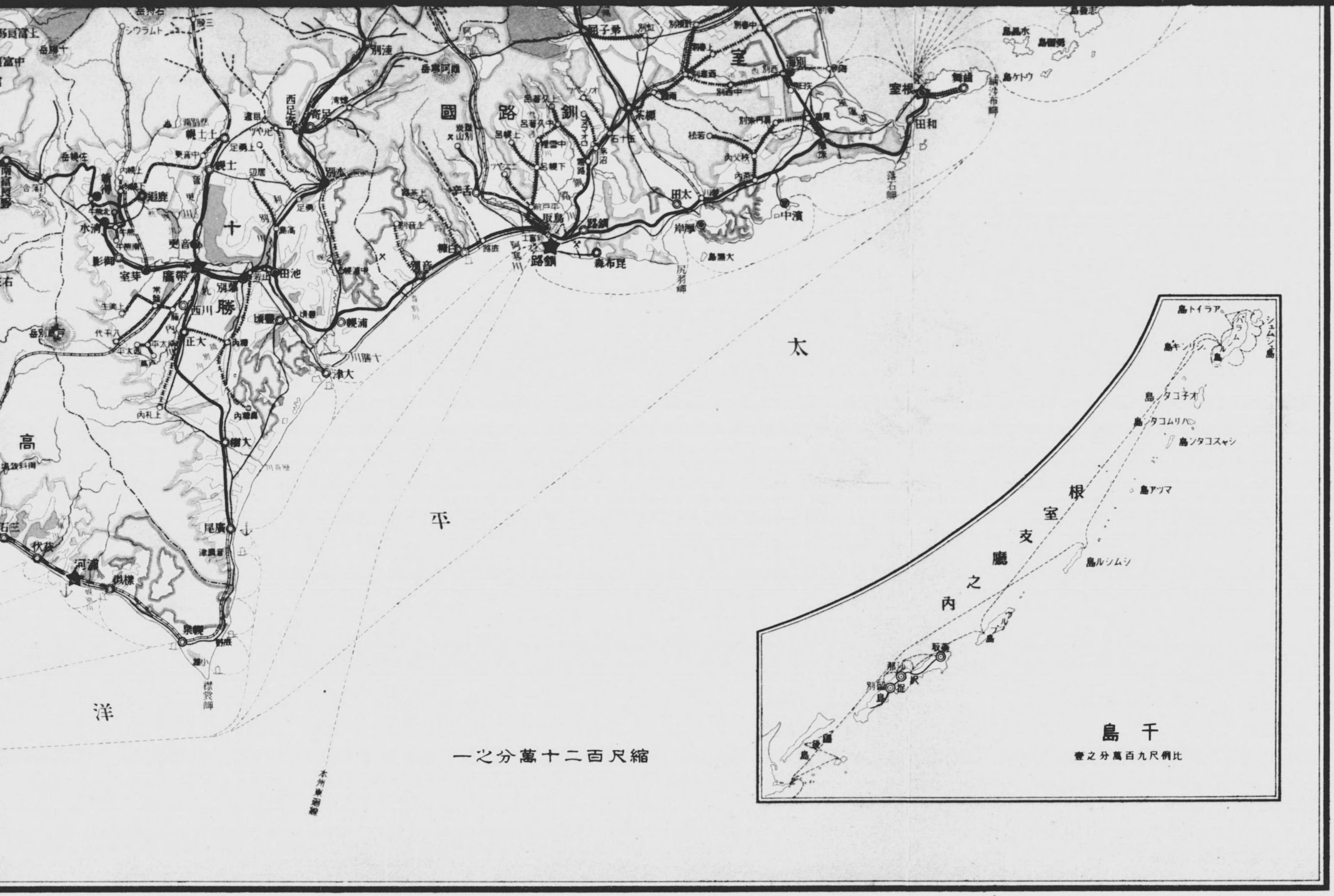
滑滝

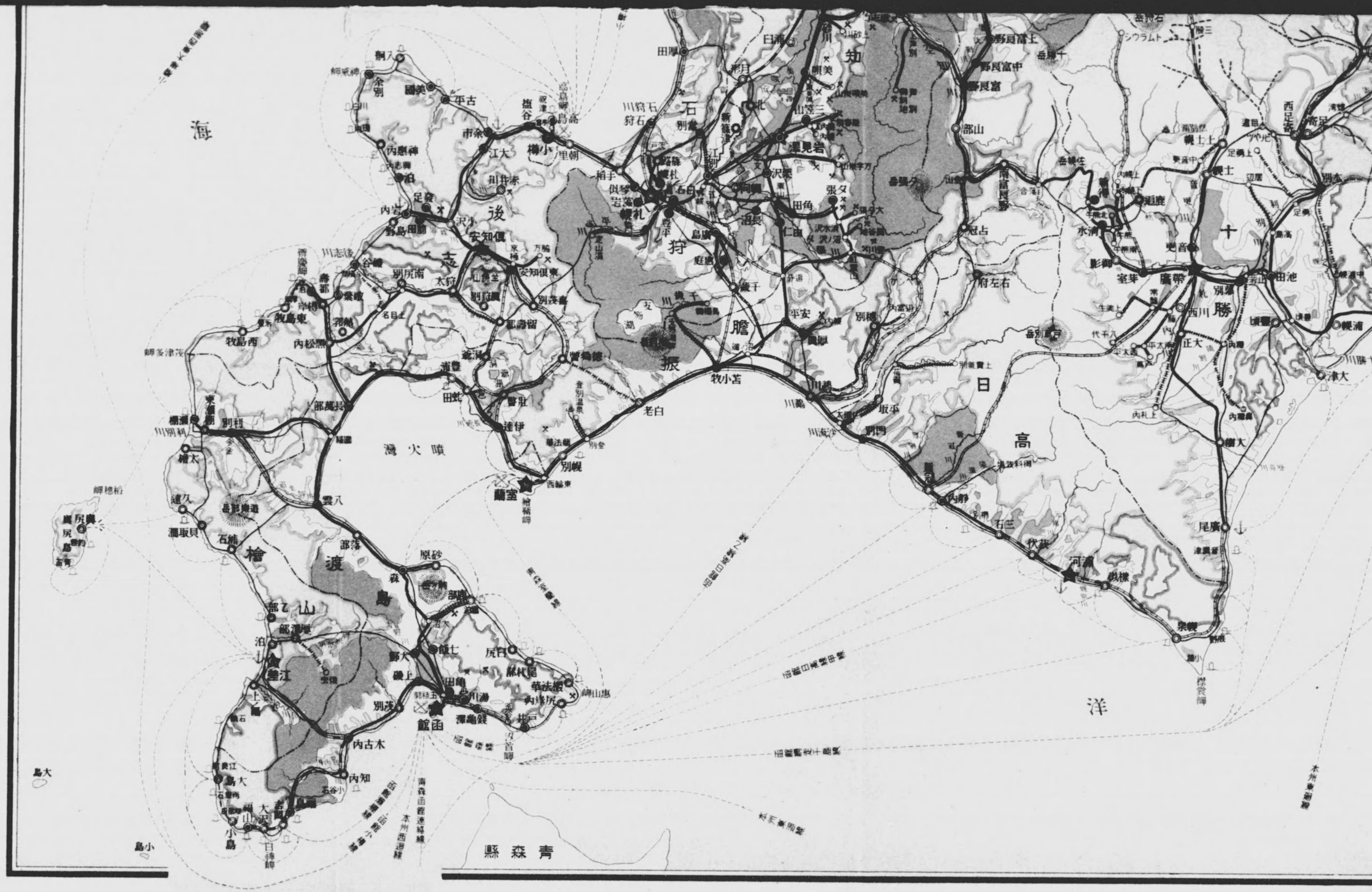
上湧

網走

原田牛

留萌


太
平
洋
縮尺百二十萬分之一
千島
比例尺九百萬分之壹
根室支廳之内
島トイラア
島キンリシ
島タコ子オ
島タコムリハ
島ンタコスヤシ
島アツマ
島ルシムシ
島ケトウ
室根
舞嶋
落石
根室
別海
釧路
標茶
厚岸
帯廣
池田
広尾
浦河
様似
襟裳
尾幌
大津
苫小牧
白老
千歳
札幌
岩見沢
旭川
富良野
美幌
網走
北見
留萌
稚内
名寄
士別
遠軽
紋別
網走國
路釧
十勝
日高
渡島
檜山
宗谷
上川
留萌
網走
北見
十勝
釧路
根室


海
洋
縣森青
島大
島小
函館
檜山
渡島
後志
石狩
振胆
日高
十勝
釧路
根室
網走
上川
留萌
宗谷
噴火湾
青森函館連絡線
本州西通線
本州東通線
函館本線
室蘭本線
千歳線
室蘭線
根室線
石勝線
宗谷線
留萌線
函館
大沼
森
駒ヶ岳
長万部
八雲
熊石
江差
上ノ国
松前
福島
知内
木古内
七飯
大野
仁山
別荘
砂原
鹿部
尻岸内
戸井
汐首岬
恵山岬
椴法華
銭亀沢
湯川
亀田
五稜郭
函館
桔梗
赤川
七重浜
鷲ノ木
森
落部
乙部
熊石
檜山
江差
泊
瀬棚
北檜山
大成
奥尻
奥尻島
青苗
稲穂
岩内
泊
神恵内
積丹
古平
余市
仁木
余別
平古
美国
小樽
銭函
札幌
豊平
定山渓
千歳
恵庭
島松
苫小牧
白老
登別
室蘭
虻田
洞爺
伊達
有珠
壮瞥
白老
苫小牧
勇払
厚真
鵡川
富川
日高
門別
様似
幌泉
えりも
広尾
帯広
音更
士幌
上士幌
鹿追
新得
清水
芽室
中札内
更別
大樹
広尾
十勝
池田
本別
足寄
陸別
釧路
白糠
音別
古瀬
浦幌
豊頃
大津
十勝川
帯広
釧路
根室
別海
中標津
標津
羅臼
斜里
清里
小清水
網走
美幌
津別
斜里
知床
羅臼
根室
納沙布岬
歯舞
色丹島
択捉島
国後島
千島列島
樺太
宗谷岬
稚内
礼文島
利尻島
利尻富士
天塩
遠別
幌延
豊富
礼文
稚内
猿払
浜頓別
枝幸
歌登
中頓別
雄武
興部
紋別
湧別
遠軽
白滝
上川
愛別
当麻
旭川
東神楽
鷹栖
比布
和寒
剣淵
士別
名寄
美深
音威子府
中川
幌加内
雨竜
深川
妹背牛
秩父別
北竜
沼田
滝川
砂川
歌志内
奈井江
浦臼
新十津川
月形
石狩
当別
新篠津
江別
岩見沢
美唄
三笠
夕張
栗山
長沼
南幌
由仁
栗沢
北村
南富良野
上富良野
富良野
中富良野
占冠
トムラウシ
十勝岳
美瑛
上川
東川
西神楽
東旭川
愛別
上川
層雲峡
大雪山
旭岳
白雲岳
黒岳
ニセイカウシュッペ山
ウペペサンケ山
石狩岳
ポロシリ
ニペソツ山
トムラウシ
十勝岳
富良野岳
芦別岳
夕張岳
暑寒別岳
天塩岳
利尻山
礼文岳
羅臼岳
知床岳
斜里岳
雌阿寒岳
雄阿寒岳
大雪山
日高山脈
石狩山地
北見山地
天塩山地
夕張山地
十勝平野
石狩平野
根釧台地
網走湖
サロマ湖
能取湖
屈斜路湖
摩周湖
阿寒湖
支笏湖
洞爺湖
倶多楽湖
然別湖
糠平湖
十勝川
石狩川
天塩川
常呂川
網走川
釧路川
渚滑川
湧別川
留萌川
雨竜川
空知川
夕張川
千歳川
鵡川
沙流川
尻別川
後志利別川
檜山
江差
上ノ国
松前
福島
知内
木古内
七飯
大野
仁山
別荘
砂原
鹿部
尻岸内
戸井
汐首岬
恵山岬
椴法華
銭亀沢
湯川
亀田
五稜郭
函館
桔梗
赤川
七重浜
鷲ノ木
森
落部
乙部
熊石
檜山
江差
泊
瀬棚
北檜山
大成
奥尻
奥尻島
青苗
稲穂
岩内
泊
神恵内
積丹
古平
余市
仁木
余別
平古
美国
小樽
銭函
札幌
豊平
定山渓
千歳
恵庭
島松
苫小牧
白老
登別
室蘭
虻田
洞爺
伊達
有珠
壮瞥
白老
苫小牧
勇払
厚真
鵡川
富川
日高
門別
様似
幌泉
えりも
広尾
帯広
音更
士幌
上士幌
鹿追
新得
清水
芽室
中札内
更別
大樹
広尾
十勝
池田
本別
足寄
陸別
釧路
白糠
音別
古瀬
浦幌
豊頃
大津
十勝川
帯広
釧路
根室
別海
中標津
標津
羅臼
斜里
清里
小清水
網走
美幌
津別
斜里
知床
羅臼
根室
納沙布岬
歯舞
色丹島
択捉島
国後島
千島列島
樺太
宗谷岬
稚内
礼文島
利尻島
利尻富士
天塩
遠別
幌延
豊富
礼文
稚内
猿払
浜頓別
枝幸
歌登
中頓別
雄武
興部
紋別
湧別
遠軽
白滝
上川
愛別
当麻
旭川
東神楽
鷹栖
比布
和寒
剣淵
士別
名寄
美深
音威子府
中川
幌加内
雨竜
深川
妹背牛
秩父別
北竜
沼田
滝川
砂川
歌志内
奈井江
浦臼
新十津川
月形
石狩
当別
新篠津
江別
岩見沢
美唄
三笠
夕張
栗山
長沼
南幌
由仁
栗沢
北村
南富良野
上富良野
富良野
中富良野
占冠
トムラウシ
十勝岳
美瑛
上川
東川
西神楽
東旭川
愛別
上川
層雲峡
大雪山
旭岳
白雲岳
黒岳
ニセイカウシュッペ山
ウペペサンケ山
石狩岳
ポロシリ
ニペソツ山
トムラウシ
十勝岳
富良野岳
芦別岳
夕張岳
暑寒別岳
天塩岳
利尻山
礼文岳
羅臼岳
知床岳
斜里岳
雌阿寒岳
雄阿寒岳
大雪山
日高山脈
石狩山地
北見山地
天塩山地
夕張山地
十勝平野
石狩平野
根釧台地
網走湖
サロマ湖
能取湖
屈斜路湖
摩周湖
阿寒湖
支笏湖
洞爺湖
倶多楽湖
然別湖
糠平湖
十勝川
石狩川
天塩川
常呂川
網走川
釧路川
渚滑川
湧別川
留萌川
雨竜川
空知川
夕張川
千歳川
鵡川
沙流川
尻別川
後志利別川
檜山